

# キャッシュレス決済アプリ（デジタル地域通貨） 「せたがやPay」について



世田谷区商店街振興組合連合会  
令和8年9月4日

# コンセプト①



## せたがやのまちを応援しよう!

せたがやPay は地域の経済の活性化を狙いとした、  
世田谷でのお支払いに特化した地域通貨です。



世田谷で作ったもの、世田谷の人々が営むサービスを利用することは  
世田谷区内での雇用を生み、世田谷エリアの活性化につながります。

地元のお店を利用することで、サステナブルなまちづくりを推進する  
— せたがやPay は、そのお手伝いをしています。

この事業は世田谷区が支援し、世田谷区商店街振興組合連合会が  
実施するものです。



# コンセプト②



## 1 地域経済の循環をつくる＝地域経済循環プラットフォーム

せたがやPayは、**世田谷区内の加盟店のみで使える**キャッシュレス決済。そのため、「お金が域外や大手プラットフォームへ流出しにくく」、「区内のお店・事業者に売上が還元される」という「**地域内で回るお金の流れ**」を意識して設計。

## 2 商店街・中小店舗の支援

大手キャッシュレス決済に比べ、「加盟店手数料が低廉」で「二次消費を促す地元店舗向けのキャンペーンが多い」という特徴があり、**個人事業主・商店街・中小事業者を支えることが目的**。

## 3 行政施策と連動する「地域インフラ」

せたがやPayは、世田谷区の政策と連動して使われ、「ポイント還元キャンペーン」や「物価高対策・生活支援施策」、「子育て世帯・若者・高齢者向け支援」など、**行政施策の受け皿として機能する地域インフラ**として位置付けられつつある。

## 4 「便利」＋「地域愛」を育てるツール

せたがやPayは単なる決済手段ではなく、「地元で使うとポイントがお得」、「知らなかった店舗との出会う」、「世田谷で暮らしている実感」といった、**地域とのつながりや愛着を育てる仕組み**が特徴。

# 基本操作① チャージ



せたがや Payは、現金を持ち歩かなくてもスマートフォンひとつでお支払いができるQRコード※決済の仕組みを利用しています。

## 01 | 現金チャージ



セブン銀行 ATMからチャージすることができます。

## 02 | QRコードを読み取ってお支払い



※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です



せたがやPay アプリ



App Store  
からダウンロード

Google Play  
で手に入れよう



App Store または Google Play から  で検索

# 基本操作② チャージ方法拡充



令和3年2月20日（事業開始）

⇒ セブン銀行ATMでの  
現金チャージ開始

※区内ATM台数 令和7年6月時点  
164件（セブン銀行HPより）

令和6年5月20日

⇒ BankPayとの連携による  
銀行口座オンラインチャージ開始

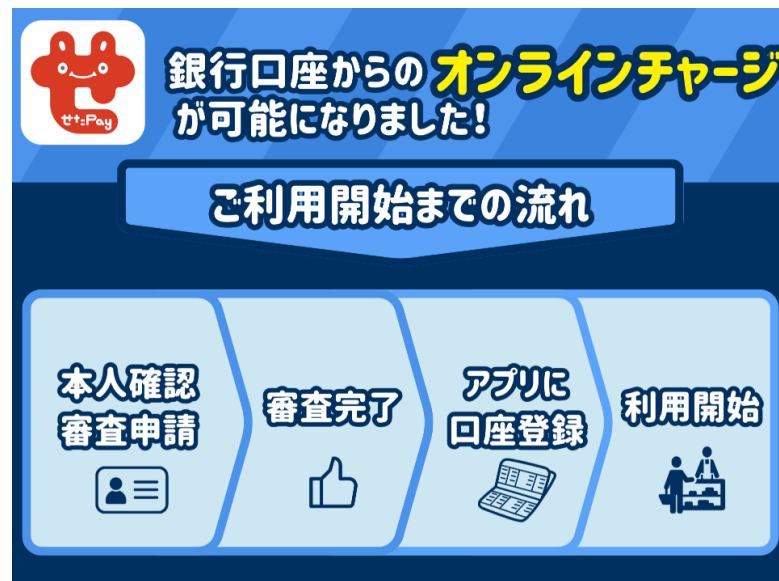
※主な金融機関 令和7年6月時点

- ・みずほ銀行
- ・三井住友銀行
- ・りそな銀行
- ・横浜銀行
- ・昭和信用金庫
- ・世田谷信用金庫 等

令和7年2月3日

⇒ ローソン銀行ATMでの  
現金チャージ開始

※区内ATM台数 令和7年6月時点  
30件（ローソン銀行HPより）



ローソン銀行  
LAWSON BANK



MONEY EASY

ローソン銀行ATMで現金チャージが可能になりました！



せたがやPayといたばしPay  
2月3日から！

finnov valley

# 基本操作③ 支払い（MPM方式）



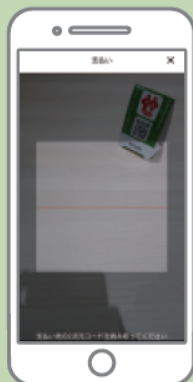
## お支払い

## 店頭に二次元コードを掲示するだけ

### 1 「支払う」をタップ



### 2 QRコードを読み取る



### 3 支払い金額を入力して、支払いの実行



### 4 支払い完了



決済音が～やん♪



MPM方式を採用し、  
加盟店の導入コストを  
ゼロに

## 精算方法

## 入金サイクルが選択可能

|                  |                          |                           |
|------------------|--------------------------|---------------------------|
| 自動精算             | 週次                       | 毎週日曜24時締め、3営業日目(主に水曜日) 払い |
|                  | 月次                       | 毎月末締め、翌月3営業日目払い           |
| <del>お急ぎ入金</del> | <del>個別申請後の3営業日目払い</del> |                           |

事務簡素化を目的に、  
令和5年10月1日付変更

## 加盟店管理画面

## お店の売り上げを効率的に管理できます

- 取引履歴：売上が即時反映、キャンセル処理も可能
- 換金申請：~~お急ぎ入金~~も可能
- データ出力：取引履歴をダウンロード可能
- 加盟店ユーザー登録：従業員毎に権限を設定可能
- キャンペーン情報をいち早く確認！  
チラシ等販促物のデータもダウンロード可能

# スキーム① 基本情報



- 運営主体：**世田谷区商店街振興組合連合会**（以下、区振連）  
（振興組合44、商店会50）
- 運営体制：**区振連、世田谷区（商業課）、(株)フィノバレー（ベンダー／システム提供事業者）の三者官民連携体制**  
※区による補助金支援（交付要綱：世田谷区地域通貨普及拡大事業補助金交付要綱）
- 運営形態：資金決済法に基づく**前払式支払手段**  
※区振連が前払式支払手段（第三者型）発行者として関東財務局に登録（登録番号：関東財務局長第17号）  
※供託義務：未使用残高の2分の1以上を法務局に供託（保全）（ユーザー保護のための措置）。  
※有効期限規制：原則、発行日から6か月以上の有効期限を設ける。  
※払戻し規制：原則、払戻しは禁止（マネーロンダリング防止）。
- 発行保証（供託）：**昭和信用金庫と発行保証金保全契約締結**  
※資金決済法に基づく発行保証金の保全方法のひとつ。発行者は、基準日における前払式支払手段の未使用残高が基準額を超えた場合、その未使用残高の2分の1以上の額を発行保証金として供託する必要がある、発行者が経営破綻した際にユーザー保護のために行われる。発行保証金保全契約により、発行者は**発行保証金を供託する必要がなくなり、資金を運用しやすくなるメリット**がある。
- 協力金融機関：12の金融機関（区内59支店）  
昭和信用金庫／世田谷信用金庫／きらぼし銀行／さわやか信用金庫／芝信用金庫／西部信用金庫／城南信用金庫／目黒信用金庫／全東栄信用組合／共立信用組合／東京中央農業協同組合／東京シティ信用金庫  
※加盟店の換金（払戻し）先が、**上記金融機関の支店口座であれば、振込手数料は無料**

# スキーム② コイン・ポイント・データ



## ①セブン銀行等で現金チャージ

セブン銀行、ローソン銀行、オンラインチャージ（BankPay）に係るチャージ手数料が控除されたチャージ金額のみ、区振連へ入金

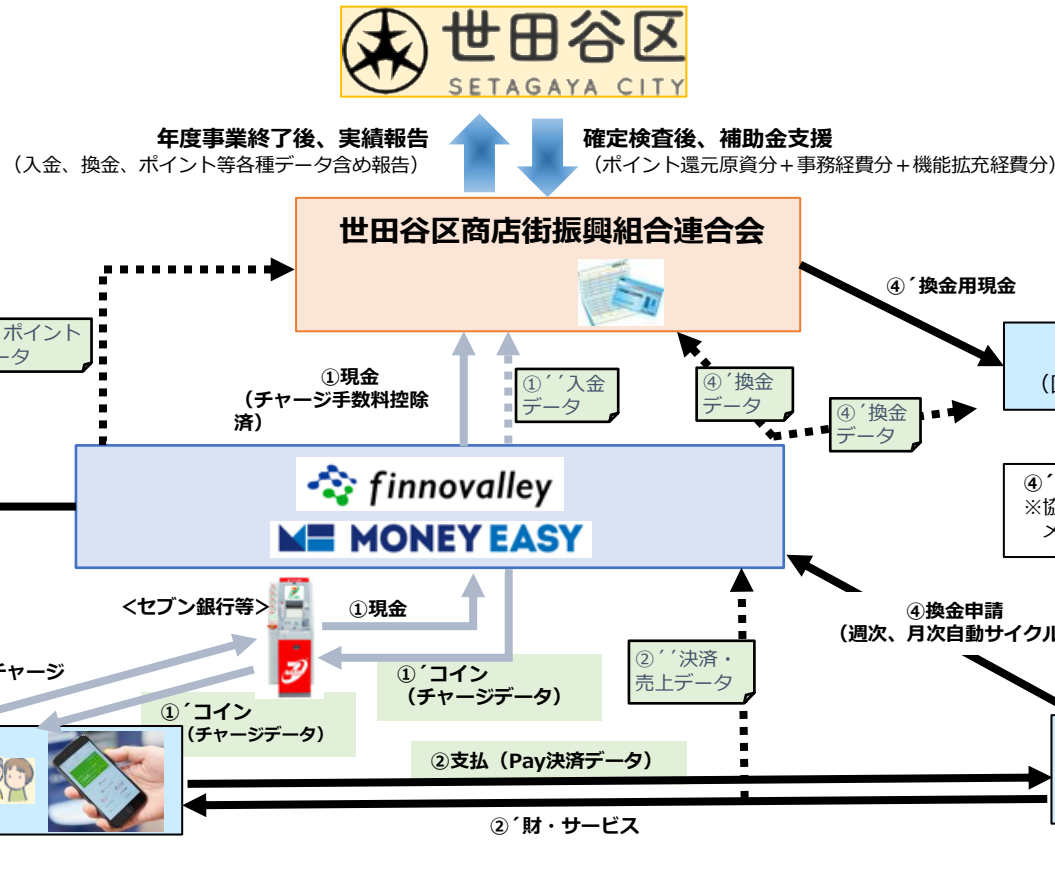
## ②支払（せたがやPay決済）

## ③ポイント付与

②に応じた金額を付与

## ④店舗からの換金申請（自動）

週次、月次サイクルで店舗よりせたがやPay売上の換金申請（自動）→サイクルに応じ、加盟店指定口座に区振連より振込（必要に応じて、換金手数料や振込手数料を控除して入金）



全てのフローがデジタル化・データ化されており、全ての動作につきログが確実に残る仕様となっている。

# スキーム③ 三者連携体制



- コミュニケーションツールSlackを活用した三者情報共有体制（常時）
- 定例MTG体制

三者間での情報共有体制、相互のチェック・フォロー体制を構築

## 区商業課

- ・ 事業全体管理
- ・ 予算進捗管理
- ・ 補助金適正執行に係る管理
- ・ 上記に係る助言指導
- ・ 庁内カウンターパート ほか

➤ 補助金支援



- 事業執行等に係る協議
- 補助金適正執行に係るポイント等元データの刈り取り等

### 【人員体制】

- フィールドチーム  
現場サポート、渉外業務、施策構築等
- インサイドチーム  
コールセンター業務、加盟店データ管理、加盟店売上管理等

## 区振連（事務局）

- ・ 本事業カウンターパート
- ・ 加盟店売上換金含む各種支払等金銭管理
- ・ 商店街等関係団体対応
- ・ 会計税理士の金銭管理 ほか

## (株)フィノバレー

- ・ システム「MONEY EASY」の運営管理
- ・ せたがやPay事務局運営業務（委託）
- ・ その他本事業サポート ほか

➤ 業務委託  
基本契約等

# 事業概要（令和8年7月末時点）



- システム：デジタル地域通貨プラットフォーム『MONEY EASY』
- 決済方式：二次元（QR）コード決済（MPM方式）
- 運営開始：令和3年2月20日
- 加盟店数：6, 586店舗（アプリ掲載店舗数：6, 008店舗）
  - ※令和3年3月末アプリ掲載店舗数：766店舗
  - ※運営開始当初の加盟店舗数メルクマール：4,000店舗
- アプリダウンロード数：627, 255件
  - ※令和3年3月末アプリダウンロード数：14,500件
- 支払ユーザー数（累計）：254, 930件
  - ※令和3年3月末支払ユーザー数（累計）：5,020件
- 総決済額：約588億円
- 初期経費：約5, 500万円
  - ※システム利用許諾料、運用手数料、セブン銀行ATMチャージ機能許諾料、インセンティブ経費等含め

# 導入の背景・狙い（令和2年度当時）



- 新型コロナウイルス感染症の拡大によるデジタル化の加速
- 在宅生活の増えた50代以下の消費者の地元回帰
- スマートフォンの普及が十分に拡大
- キャッシュレス決済に慣れた「現金を使わない層」の取込
- 区外への消費流出の防止（既存キャッシュレス決済、EC等に対抗）
- 販促の共通インフラ構築（情報発信、販促ポイントやクーポンの発行など／特に資本力に劣後する中小・小規模事業者を対象）
- 従前の商品券販売・換金コスト（人的、金銭的）の圧縮  
（背景）夜間銀行、両替等サービスの縮小傾向など現金管理コストの増